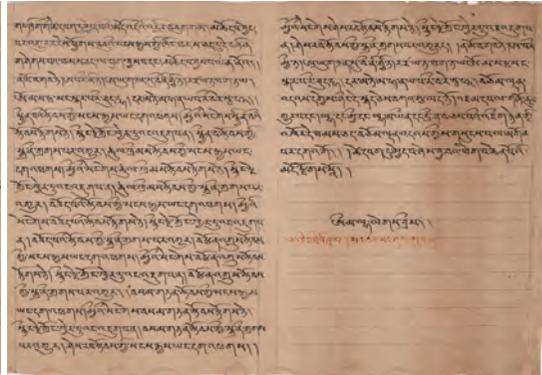
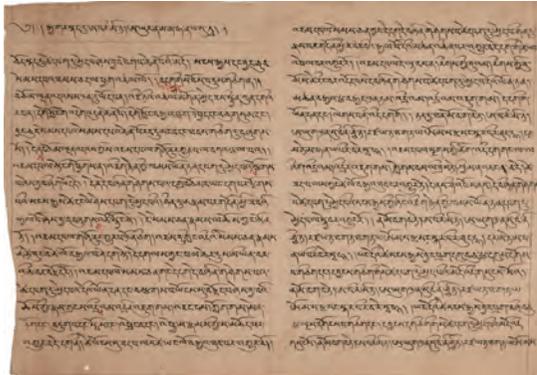


1 大方広花嚴經 卷第二十 一卷

11,000,000 円

宝亀六年五百木部真勝写 今更一部一切経 十八紙継 首尾完存 紙高 27.6 糎 長さ 10 米 14 糎 卷子装 塗箱入 少虫喰補修

宝亀五年から七年にかけて奉写一切経所で写経事業が行われた今更一部一切経の條卷。卷軸部に書き入れはないが、正倉院文書の手実によって宝亀六年に五百木部真勝によって書写されたことが判明する。



2 無量寿宗要經 一卷

6,600,000 円

チベット語訳 中唐時代写 敦煌写本 罫線入 二段十九行 朱書入 四紙継 首尾完存 紙高 31.2 糎

長さ 1 米 78 糎 未装 箱入 少虫喰

『無量寿宗要經』のチベット語写本。チベット語表記の特徴から八世紀末から九世紀初めのものと推定される。奥書から三校を経ていることが知られる。

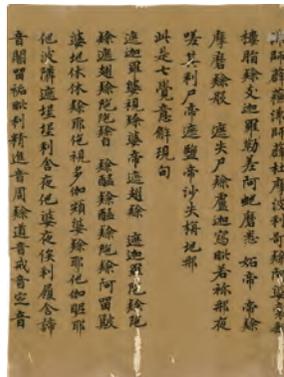
3 弘明集断簡 一枚 九三〇〇円

山門切 伝小野篁筆 平安初期写
古筆了雪極札付 28・1×6・6 糎
未装 少虫喰



4 大毘盧遮那成仏経疏断簡 一枚 八六〇〇円

卷三 伝弘法大師筆 平安中期写
朱点朱仮名入 古筆了雪極札付
28・2×13・9 糎 未装 少虫喰

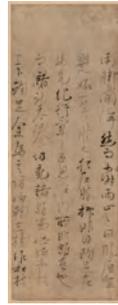


5 大乘悲分陀利経断簡 一枚 一、100,000円

卷一 伝伝教大師筆 初唐時代写
朝倉茂入極札付 26・6×20 糎 未装
少虫喰



▲ 8



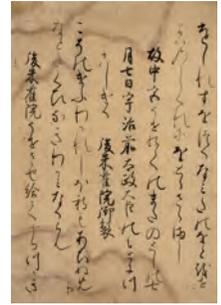
▲ 10



▲ 11

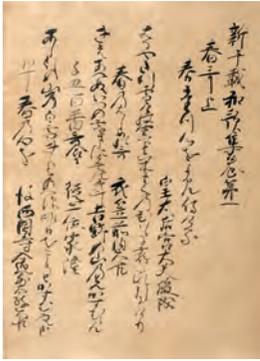


▲ 18



▲ 19

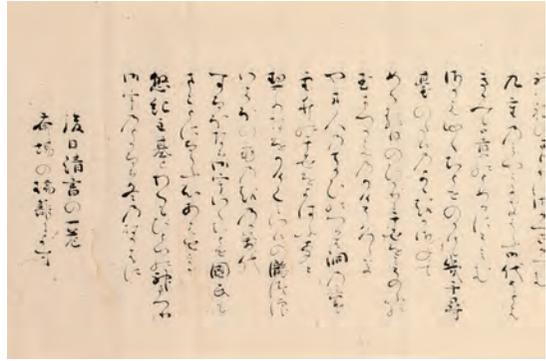
6	寢覚物語絵巻詞書断簡 一枚	1,320 万円	「めるめ□すのもの…いとねたけにみ」九行 伝寂蓮法師筆 平安末期写 金銀砂子散料紙 古筆了雪極札付 26.4 × 19 種 未装 擦れ 傷み 大和文華館蔵・国宝「寢覚物語絵巻」の新出詞書断簡
7	源氏物語断簡 一枚	66,000 円	賢木 伝二条為明筆 鎌倉後期写 六半十一行 古筆極札付 15.5 × 14.6 種 未装 少虫喰
8	源氏物語系図断簡 一幅	132,000 円	伝頼阿筆 南北朝期写 色替紙継下絵入料紙 巻物切九行 奥西宗円極札・川勝宗久異伝極札付 本紙 26.7 × 16.5 種 総丈 126 × 37.3 種 軸装 二重箱入
9	平家物語断簡 一枚	165,000 円	長門切 伝世尊寺行俊筆 鎌倉末期写 墨罍 巻物切五行 古筆了榮極札付 30.7 × 11 種 未装
10	後鳥羽院宸記断簡 一幅	330,000 円	鎌倉前期写 墨罍 巻物切五行 本紙 27.4 × 9.9 種 総丈 141 × 32.7 種 軸装 二重箱入
11	装飾色紙 一幅	220,000 円	伝後京極良経筆 鎌倉前期写 金銀採箔霞引料紙 本紙 20.5 × 19.5 種 総丈 144 × 45.8 種 軸装 箱入
12	古今和歌集断簡 一枚	66,000 円	石見切 卷第十四恋歌四 寂恵筆 鎌倉中期写 四半九行 古筆了榮極札付 23.5 × 15.6 種 未装
13	古今和歌集断簡 一枚	66,000 円	木曾切 卷第十二恋歌二 伝園基氏筆 鎌倉中期写 四半八行 朝倉茂入道順極札付 23.7 × 15.5 種 未装
14	古今和歌集断簡 一枚	198,000 円	久巴切 卷第四秋歌上 伝二条為世筆 鎌倉後期写 青雲紙 四半八行 古筆了榮極札付 23.5 × 15.3 種 未装
15	後撰和歌集断簡 一枚	88,000 円	卷第十恋二 伝甘露寺資経筆 鎌倉前期写 四半十行 朝倉茂入道順極札付 23 × 14.8 種 未装
16	拾遺和歌集断簡 一枚	66,000 円	卷第六別巻頭 伝仁和寺弘融筆 鎌倉後期写 大四半十行 古筆了榮極札付 27.3 × 16.9 種 未装
17	拾遺和歌集断簡 一枚	66,000 円	近江切 卷第八雑上 伝慶融筆 鎌倉後期写 四半十一行 古筆了榮極札付 22.9 × 14.5 種 未装
18	後拾遺和歌集断簡 一枚	660,000 円	中院切 第十哀傷巻頭 伝藤原公任筆 平安末期写 飛雲入金銀採 箔散料紙 四半二行 古筆極札付 本紙 21.2 × 4.4 種 未装
19	後拾遺和歌集断簡 一枚	198,000 円	八幡切 第十五雑一 飛鳥井雅有筆 鎌倉中期写 紫雲紙 四半八行 古筆了榮極札付 23.5 × 15.9 種 未装
20	千載和歌集断簡 一枚	55,000 円	西京切 卷第十七雑歌中 伝轉法輪公忠筆 南北朝初期写 六半十二行 古筆了榮極札付 16.4 × 15.7 種 未装
21	新古今和歌集断簡 一枚	88,000 円	八坂切 卷第五秋歌下 伝甘露寺光経筆 鎌倉初期写 四半七行 畠山牛庵極札付 23.3 × 13.9 種 未装
22	新勅撰和歌集断簡 一枚	55,000 円	卷第一春歌上 伝定為筆 鎌倉後期写 四半八行 古筆了榮極札付 22.3 × 13.7 種 未装 少虫喰補修
23	新勅撰和歌集断簡 一枚	66,000 円	卷第三夏歌 伝世尊寺行尹筆 鎌倉後期写 四半八行 浅井不旧極札付 24.2 × 15.5 種 未装 少虫喰
24	玉葉和歌集断簡 一枚	55,000 円	卷第一春歌上巻末 小倉実名筆 南北朝期写 四半九行 古筆了榮極札付 24 × 16 種 未装
25	玉葉和歌集断簡 一枚	44,000 円	卷第十四雑歌一 伝呆守筆 南北朝期写 四半四行 古筆了榮極札付 23 × 15.4 種 未装 少虫喰
26	続千載和歌集断簡 一枚	66,000 円	鳥田切 卷第五秋歌下 伝二条為親筆 鎌倉末期写 四半十行 古筆了榮極札付 24 × 16.4 種 未装
27	新続古今和歌集断簡 一枚	110,000 円	仏光寺切 卷第六冬歌 夷孝筆 室町中期写 巻物切十一行 古筆了榮極札付 25.8 × 26.6 種 未装
28	松花和歌集断簡 一枚	99,000 円	卷第四冬歌 浄弁筆 南北朝期写 巻物切九行 古筆了榮極札付 25.6 × 17.6 種 未装



29 新千載和歌集 二帖

1,320,000 円

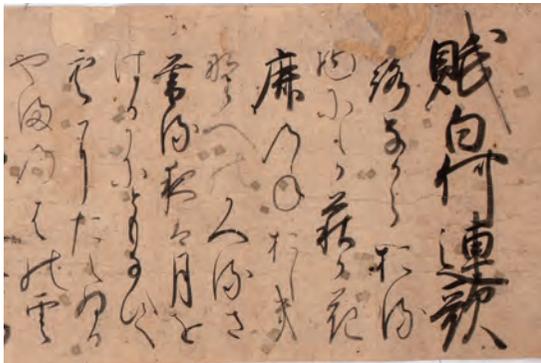
江戸初期 (烏丸光広) 写 京都毘沙門堂旧蔵
墨付 330 枚 26.5 × 19.2 糺 綴葉装 塗箱入 少虫喰
少傷み 浸
本文は流布本系で総歌数は 2365 首を存している。



30 冷泉為村卿詠歌 一卷

198,000 円

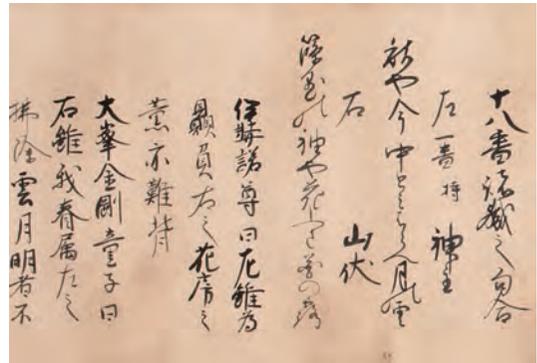
明和八年冷泉為村自詠自筆 紙高 30 糺
長さ 11 米 51 糺 卷子装 箱入 虫喰補修 虫喰
寿後桃園天皇大嘗会和歌。神祇以下六題各 35 首の計 210 首。
吉田社斎場所へ奉納された清書本。



31 賦白何連歌 一卷

220,000 円

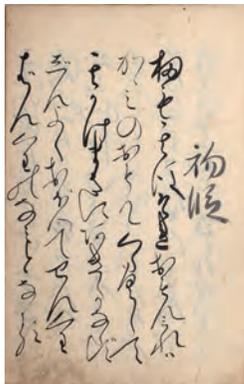
宗長独吟 長享二年大神宮法楽十句第四百韻
室町末期写 紙高 17.3 糺 長さ 4 米 48 糺 卷子装
箱入 少破れ 少破損補修 浸



32 十八番諸職之句合 一卷

385,000 円

立圃自筆 都北山におはせるおきな判 古筆了信箱書
紙高 19.3 糺 長さ 5 米 44 糺 卷子装 箱入 少浸
一部焼損補修



33 金平石山落 二冊

550,000 円

奥浄瑠璃正本 六段本 寛文・延宝頃写 一部節付
濁点入 139 丁 大本 (28.9 × 19.5 糺)
寛文三年山本版『金平法門浄并石山落』と比して初〜三段
に著しい相違がある。



34 伏山敵討 一冊

440,000 円

明治初期写 31 丁 朱点入 大本 (26.5 × 19.2 糺)
改装 極少虫喰
琉球芸能、組踊「伏山敵討」の詞章を記した台本 (組踊本)。
後半 10 丁は、「老人言葉」から始まる複数の琉球舞踊の詞章
が書かれており、「長者の大主」系芸能といわれる祝儀舞踊
の記録であろう。



35 伊吹山酒呑童子 五巻

3,960,000 円

天正頃写 金銀泥着色画(一)五図(二)五図(三)五図(四)三図(五)一図 紙高28 糎

長さ(一)10米91糎(二)10米47糎(三)10米61糎(四)8米13糎(五)11米12糎 卷子装 箱入

外題等はないが内容から掲題した。本文は古法眼本等他の伝本と比して異同が著しい。絵は場面を連続する傾向があり、巻五の一図は9米弱におよぶ。



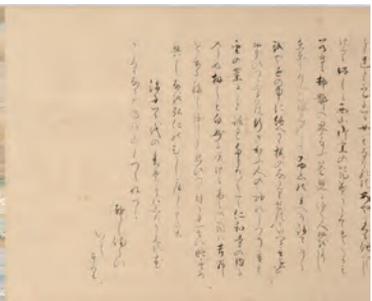
36 白牛一十頌 一帖

198,000 円

伝輪王寺宮公辦法親王筆 頌十枚 着色画十枚
元禄八年円覚院常然識語 頌各 15.5 × 13.9 糎
画各 15.9 × 14.3 糎 総丈 35.8 × 18.3 糎 折帖装
箱入

37 近江八景 一帖

275,000 円

和歌・(徳川家宣筆) 金霞引金箔散金泥若松模様入色紙
八枚 各 18.6 × 16.9 糎
絵・松本友盛岑信画 絹本着色画八枚 各 18.8 × 16.9 糎
金欄緞子表紙 総丈 27.2 × 22.7 糎 折帖装 箱入

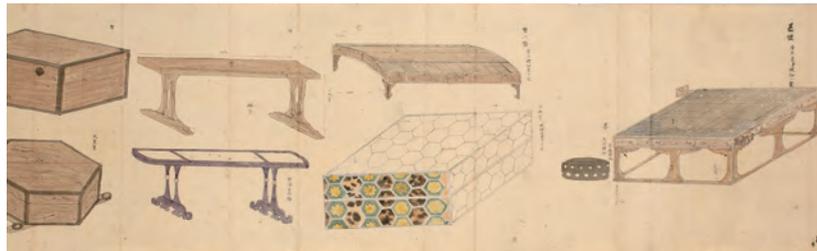
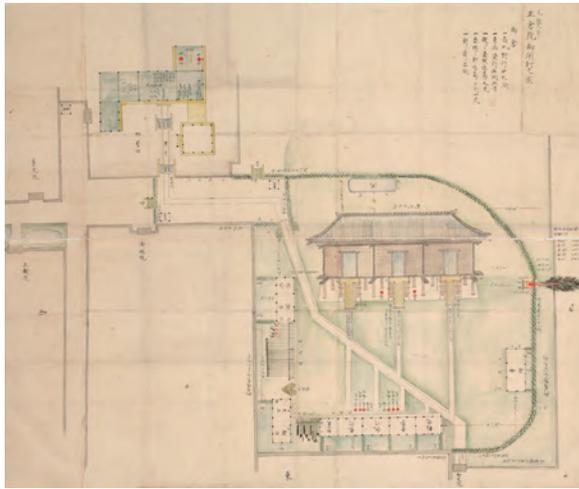
38 小紫 二巻

2,200,000 円

元文二年楊汀宅間幸賀作画 紙本着色画 上4図・下6図 紙高32.8糎 長さ(上)8米88糎・(下)8米23糎

卷子装 箱入

在原行麻呂と小紫の一夜の逢瀬などを描いた擬古春画絵巻。小紫らは狐の化身であった。



39 元禄十六年 正倉院御開封行列絵図并御物図巻摺本 六巻

二九七〇〇〇円

正倉院に関する卷子本六巻。(一)は「元禄六癸酉年五月十六日正倉院御開封行列絵図」と首題のあるもので、一番奉行兼検使から四番鑑箱持まで武家・公家・僧侶等百六十九名の行列を描く。末に折込図「元禄六年正倉院御開封之図」を付す。(二)は「東大寺正倉院御物之圖」と首題のあるもので「螺鈿紫檀阮咸」以下楽器・武具など二十種を描いて、末に「天保十一年初夏従四位上紀延寅謹寫」と奥書がある。(三)は「粉地金銀絵八角几」以下調度・仏具・文房具など四十種を描いたもの。宝物名を記す筆跡が(二)と同様で、この巻も上司

延寅の手になるものであろう。(四)は「楡形絵花鳥櫃」以下調度・楽器・染織等三十一種を描く。(一)(二)(三)とは別手で、一部に「檀屋」印が捺される。(五)は宝物の原拓本。(五)は「金銀鈿唐大刀」以下武具・仏具等二十種、(六)は巻末に「秋山氏印」印記があり、「白石鎮子」以下調度・鏡十五種を収めている。また「正倉院御開封記録」二冊(江戸末期写 167丁 28・1×19・6 種 仮綴)を付す。

紙高各38・2 種 長さ(一) 6米48 種(二) 12米88 種(三) 10米71 種(四) 11米78 種(五) 7米75 種(六) 8米86 種 各卷子装 二段箱入 一部浸 虫喰補修



40 解蝦夷志 一冊
 宝曆十二年長莎館沢田員矩自筆 金泥着色画見開十開
 折込図「蝦夷島之図」入 大本(27・9×19・8 糎) 虫喰補修

1,110,000円



41 琉球人物図 一幅
 仲宗根嶂山画 着色画 本紙110・5×52・7 糎
 総丈173・5×64・7 糎 軸装 箱入

九三,〇〇〇円



42 万国人物図巻 一卷 660,000円

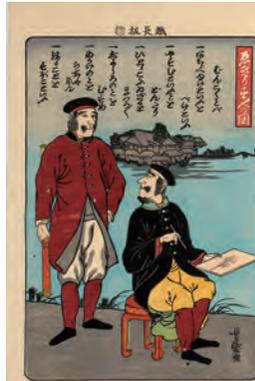
江戸末期城義隣写 着色画40図 紙高29.1糎 長さ8米51糎 卷子装 箱入
 掲題は仮題。大明人より長人まで各国の人物を図説している。巻末の印記から本巻が長崎画人城義隣によるものと判明する。



43 外国人酒宴之図 一枚 88,000円
 芳員画 万延元年刊
 丸甚版 色刷
 37.2×25.5 糎 未装



44 横浜見物図会 一枚 132,000円
 異人稚遊 芳員画
 万延元年刊 上金版 色刷
 38.3×25.4 糎 未装



45 糸ぎりす人の図 一枚 66,000円
 芳盛画 万延元年刊
 越長版 色刷
 37.6×25.2 糎 未装



46 南京人の図 一枚 55,000円
 芳盛画 文久元年刊
 越長版 色刷
 37.5×25.2 糎 未装



47 生写し花鳥の繪 和鳥 一卷

1,320,000 円

江戸中期写 着色画 紙高43種 長さ19米55種 卷子装 箱入 表紙破れ 折れ 浸
 題簽に「生写し花鳥の繪 和鳥」とある大型の絵巻で「佛法僧又ハ三寶鳥」から「野がん」まで二十七種三十六羽を松や水仙などの花木とともに描いたもの。金地の貼紙に鳥名を記している。



48 鳥之繪 一卷

2,200,000 円

江戸後期写 着色画四十一図 紙高28.7種 長さ11米17種 卷子装 箱入 少浸 少虫喰補修
 四十種の鳥類を描く。鳥名等は記されないが、明らかに外国産の鳥類を含む。特筆すべきは西洋紙が使われていることで、その透かし文様からオランダの Lubertus van Gerrevink とフランスの Jean Villedary 製の料紙と判明する。



49 雷鳥図 一幅
 服部雪斎画 前田利保讚 絹本着色画
 総丈161・5×41・5種 軸装 箱入

本紙110・3×33・8種

三三〇〇〇〇円



50 鷓鴣図 一幅
 狩野宗信画 嘉永六年昌谷精溪讚 絹本着色画
 総丈178×46・6種 軸装 箱入 表具少虫喰

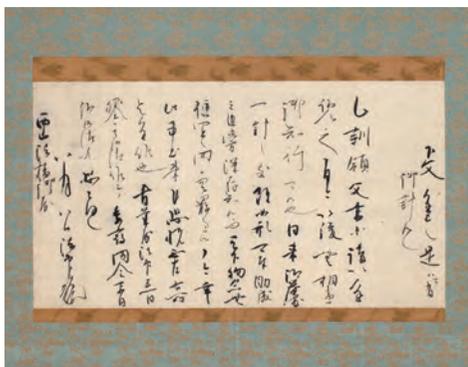
本紙114×37種

八八〇〇〇円

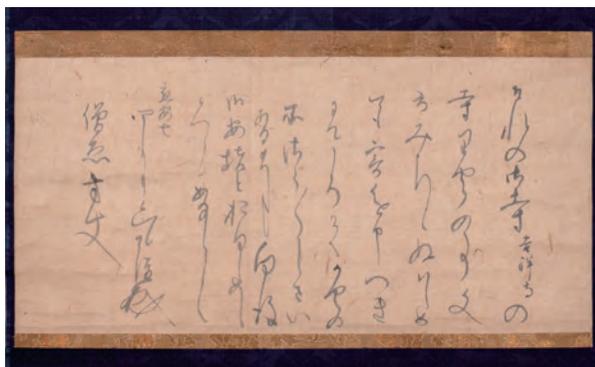


51 牽牛品 二冊 275,000 円

峰岸龍父著 丹波桃溪・森春溪画
 文政二年刊 塩屋平助等四肆版
 一部色刷 岡不崩他旧蔵
 小本(17.9×12.1種) 少虫喰補修


52 法印慈円自筆書状 一幅 13,200,000 円

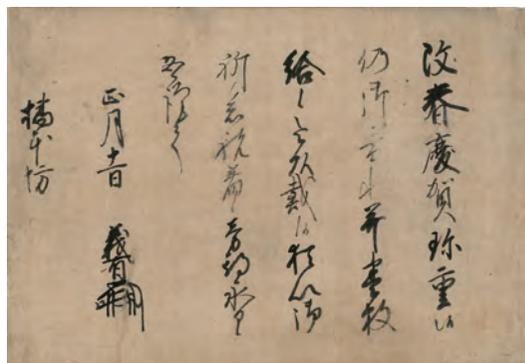
(寿永二年)八月八日付 西山法橋御房宛
 渥美契縁箱書 本紙 31.7 × 57.5 糎
 総丈 118 × 70.7 糎 軸装 箱入
 京都西山三鈷寺文書の内。西山法橋観性に対し、乙訓領の文書を送付するので相違なく知行するよう述べた書状。


53 今川了俊自筆書状 一幅 3,850,000 円

応安七年四月六日付 僧惠方丈宛 古筆了榮・了意極札付
 (神田家伝来) 平凡社『書の本史 三卷』所収
 本紙 31.9 × 66.6 糎 総丈 125 × 68.7 糎 軸装 箱入
 表具少虫喰
 書中の吉祥寺は、大友親世の亡父大友氏時創建の寺。了俊が自らに協力してくれた恩賞として吉祥寺の僧恵に与えた安堵状。


54 一色義清書状 一通 495,000 円

五月十四日付 橋本坊宛 古筆了榮極札付
 26.5 × 37.2 糎 未装
 極札に山名とするが誤り。


55 畠山義有書状 一通 495,000 円

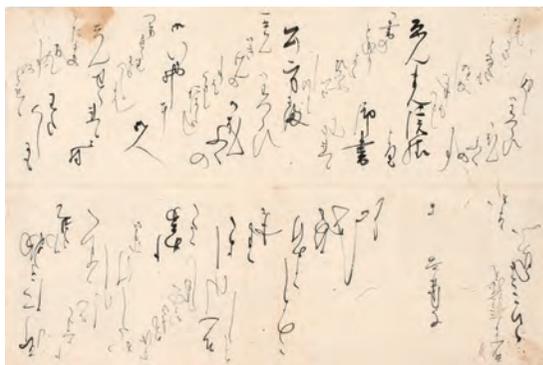
正月十一日付 橋本坊宛 古筆了榮極札付
 27.8 × 40 糎 未装

56 一色義直書状 一通 495,000 円

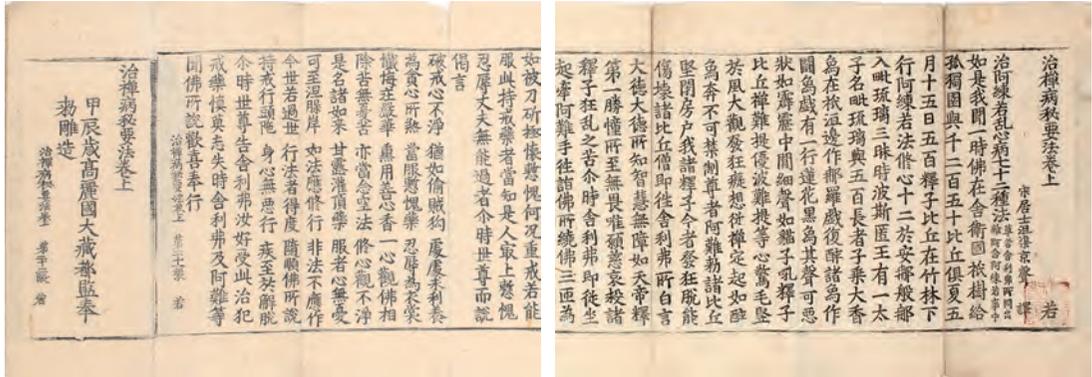
正月十一日付 橋本坊宛 古筆了榮極札付 27.4 × 38.2 糎 未装
 新春の挨拶を述べ、牛玉宝印と香水を贈られた礼を述べる。


57 一休宗純自筆書状 一幅 4,400,000 円

越前宛 本紙 25.1 × 43.3 糎 総丈 109 × 54 糎
 軸装 箱入
 福千世の赤子に狂歌一首を書き与えた書状。宛名下に「い」と署名がある。


58 春日局自筆書状 一通 3,300,000 円

七月二十二日付 ゑんまん院宛 36.3 × 54 糎 未装
 虫喰
 円満院常尊からの、公方様(徳川家光)本復祝と自身への進物に対する礼状。



59 治禪病秘要法 卷上 一帖

2,750,000 円

沮渠京聲訳 高宗三十一年刊 二十二紙継 首尾完存 31.2 × 12 糎 折帖装 帙入
 再雕本高麗版大藏經のうちの一帖。再雕本は初雕本焼失後、高麗王高宗の企図によって高宗二十三年から三十八年にかけて雕造された。本帖は刊記から、高宗三十一年に雕造されたことが知られる。表紙は柿渋色料紙を用い、中央に金字で外題と千字文画号が記されている。



60 朝鮮国禮曹参判李植書契 一通

三,100,000 円

崇禎十六年二月付
 日本国奉行源公内匠頭公閣下宛
 54・6 × 108・5 糎 未装 箱入
 少浸 少虫喰

崇禎十六年（寛永二十年、1643）二月日付朝鮮国禮曹参判書契。料紙は厚手の楮打紙。本文二箇処と封緘部の「植」字署名上に「禮曹参判之章」朱文方印が捺されている。朝鮮国王仁祖が寛永十八年八月、徳川三代将軍家光に嫡子竹千代（家綱）が誕生したことを対馬藩の伝報によって知り、禮曹参判李植を通じて祝意を示したもので、寛永二十年七月に朝鮮通信使によってもたらされたものである。宛所は「日本国奉行源公内匠頭公閣下」すなわち武蔵国石戸藩主牧野信成である。信成はこの時竹千代の守役を務めており、朝鮮通信使来聘時には奏者番を務めている。



61 覃學斎詩稿 二冊

220,000 円

金正喜 高宗四年序刊 銅活字版 30 × 19 糎
 一部虫喰補修



62 百美新詠図伝 四冊

770,000 円

顔希源 嘉慶十年跋刊 26.8 × 16.6 糎 帙入

**63 月岡芳年自筆画稿 二綴****2,640,000 円**

明治期筆 墨画 朱入 (一) 二十枚一綴 約 48.5 × 34 種 (二) 八枚一綴 約 49 × 33.5 ~ 57.5 × 85 種 各未装
月岡芳年画稿。20 枚と 8 枚を紙縫で綴じたもの。墨で描いた上のまま朱を加えている。執筆時期は明らかではないが、明治十二年刊「大日本史略図会・第九十一代龜山天皇」や明治十九年刊「月百姿・垣間見の月 かほよ」の近似図があり、およそ明治十年から芳年が没する明治二十五年までの時期の画稿と推定される。また、肉筆画の下絵とみられるものも含まれている。

64 都 の 錦 一帖 49,500 円

森寛斎他画 色刷 25 図 明治二十四年刊 田中治兵衛版 元袋付
24.2 × 16.7 種 折帖装

65 虫 類 画 譜 一帖 99,000 円

歌麿画 色刷 見開 15 図 明治二十五年刊 大倉孫兵衛版 元袋付
24.9 × 17.8 種 折帖装

**66 小村雪岱原画 一枚 143,000 円**

大佛次郎短篇「悪魔の辻」挿画
雑誌『日の出』2 巻 1 号 (昭和 8 年 1 月) 所収 19.2 × 27.2 種 未装

67 小村雪岱原画 一枚 143,000 円

吉川英治「親鸞聖人」挿画
雑誌『日の出』4 巻 7 号 (昭和 10 年 7 月) 所収 27.3 × 39 種 未装 浸 鑄跡

68 小村雪岱原画 一枚 143,000 円

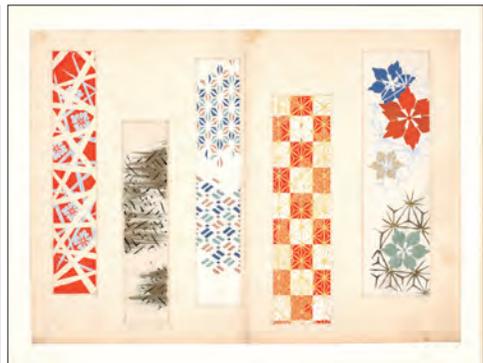
子母澤寛短篇「小女郎峠」挿画
雑誌『日の出』6 巻 1 号 (昭和 12 年 1 月) 所収 19.6 × 27.2 種 未装

69 小村雪岱原画 一枚 132,000 円

白井喬二「若衆鬻」挿画 雑誌『日の出』2 巻 5 号 (昭和 8 年 5 月) 所収
19.4 × 27 種 未装 浸

70 小村雪岱原画 一枚 132,000 円

子母澤寛短篇「小女郎峠」挿画 雑誌『日の出』6 巻 1 号 (昭和 12 年 1 月) 所収
19.7 × 27.2 種 未装

**71 割付百趣画稿 一冊****330,000 円**

昭和十二年頃 河原崎晃洞自筆画稿 着色画百五十七種 台紙 33.4 × 45.4 種 総丈 39.3 × 54.7 種
昭和十二年、内田美術書肆刊行の木版色刷図案集『割付百趣』の肉筆画稿。台紙 30 枚に 157 種の図案を貼り込む。一部に鉛筆にて指示書きがあり、色見本を貼付している。保護のためか台紙を更に冊子に貼り込む。